

## エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネス検討会の設置について

平成28年1月29日

資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部政策課

新産業・社会システム推進室

## 1. 設置趣旨

- ① 東日本大震災以降、分散型・需要家側エネルギーリソース（太陽光発電、蓄電池、電気自動車、エネファーム、ネガワット等）の導入拡大に伴い、新たなビジネス領域として、アグリゲーションビジネスが注目されている。
- ② 電力システム改革やIoTの発展を踏まえ、アグリゲーションビジネスを新たなエネルギー産業として育成していくことは、分散型・需要家側エネルギーリソースを全体のエネルギーシステムの中で効果的に活用していくためにも重要な課題である。
- ③ また、平成27年11月26日の“未来投資に向けた官民対話”の場において、「家庭の太陽光発電やIoTを活用し、節電した電力量を売買できる『ネガワット取引市場』を、2017年までに創設をいたします。そのため、来年度中に、事業者間の取引ルールを策定し、エネルギー機器を遠隔制御するための通信規格を整備いたします。」という総理指示が出されたところ。
- ④ それらを受けて、再エネ、省エネ、電力システム、情報通信など部局横断的に存在する様々な課題を整理・総合的に議論するためのプラットフォームを構築し、アグリゲーションビジネスの全体方針を策定するとともに当該ビジネスの発展を支援することを目的とする。
- ⑤ また、産学主体で設置されたエネルギーリソース・アグリゲーション・ビジネス・フォーラムとも緊密に連携することとする。

## 2. 主要議題

- ① アグリゲーションビジネスの意義や課題の共有
- ② 通信規格の拡張と国際標準化に向けた検討
- ③ FIT併用逆潮の際の計量方法の整理
- ④ ネガワット取引活性化に向けた取引ルール等の策定

※その他必要に応じて追加